

講義名	中小企業経営論	授業形態	
担当教員	長坂 泰之	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2 時限
		単位数	2
		履修開始年次	3 年生
		ナンバリング・コード	MAN384

主題と概要

日本の企業の大衆を占める中小企業の役割は重要であり、中小企業の経営マネジメントに関する幅広い知識と専門領域で要求される知識・実践的能力を身につけることで、社会に貢献できる学生の育成に貢献します。

具体的には、本科目では、中小企業経営に関する幅広い知識と専門領域で要求される知識・実践的能力を身につけることで、社会に貢献できる学生を育てます。

日本の企業の約7割が中小企業であり、また雇用の約7割が中小企業とされています。日本における中小企業の役割は非常に重要であり、特に地域において重要な役割を果たす中小企業が、実際にどのような経営、事業活動を行っているのかについて、体系的に学ぶことを目的としています。

本科目では、中小企業の経営に関して、主として中小企業の社会における役割、経営戦略、支援策について学ぶとともに、事例から中小企業等の実態を学ぶことなどによって、中小企業経営に対する理解を深めます。

最後に、本講義は、中小企業経営（主に中小商業）に興味がある学生に向けた講義です。

到達目標

本科目では以下の到達目標を設定している。

(1)履修した学生が、中小企業の経営に関して主として中小商業の社会での役割及びその変化について必要な知識を身につけることができる。

(2)履修した学生が、中小企業の経営に関して主として中小商業の経営に必要な知識を身につけることができる。

(3)履修した学生が、中小企業の経営に関して主として中小商業に対する様々な支援に関する知識を身につけることができる。

到達目標(1)(2)(3)を達成することで、中小企業の経営マネジメントに関する幅広い知識と専門領域で要求される知識・実践的能力を身につけ、社会に貢献できる学生を育成することができる。また、目標(1) - (2)のそれぞれの項目を達成することで中小商業業界の動向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これをもとに、企業マネジメントに関する問題探索ができ、課題提案力が身につく。

提出課題

- 毎回のレポート
レスポンスを使用して、毎回の授業で当該授業の理解度チェックを兼ねたレポートが提出。
また、授業中にResponなどを使用して、教室内の意見を集約・発表することなどによって、様々な考え・意見が存在することを理解するとともに、自らの考えや理解を深めることを目指します。
- 中間まとめテスト（レポート方式）を行います。
- 期末まとめテスト（レポート方式）を行います。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

必要に応じて、講義連絡、次回以降の講義、メール等により講評、解説を行います。

評価の基準

- 毎回のレポート及び授業への参加意欲等 60%
 - 毎回の課題Responは最低9回以上の提出を必須とします。 評価は、課題Responに加えて、授業中に出すResponの回答内容、参加意欲なども考慮して決定します。
 - 中間まとめテスト（レポート方式）15%
 - 期末まとめテスト（レポート方式）25%（必須）
- 毎回のレポートで、定性的な記述において、全く同様の内容、類似した内容、ネット等からそのままのコピペについては、関係した全ての学生のレポート評価を0評価とします。

履修にあたっての注意・助言他

- 講義連絡について
基本的にRVLがポータル「講義連絡」を通じて、講義の連絡、テキストの配布及びレポートの内容・期限等を通知します。対面の履修生には講義資料を配布します。
- レポートなどの期限について
レポート、レスポンスの提出期限は厳守です。また、レスポンス番号の間違い等による提出ミスは「未提出」扱いになるので十分気を付けてください。
- 本科目は主に中小商業について学びます。専ら中小製造業について学びたい学生向けの科目ではありませんので注意してください。

教科書

.使用しない。

参考図書

.1からの流通論第2版。	石原武政・竹村正明・畑井謙一（編著）	碩学舎	2640	9784502283611
--------------	--------------------	-----	------	---------------

その他

- 資料
RVLがポータルの講義連絡からPDFで配信します。
- 参考文献
渡辺幸男他著、『21世紀中小企業論』第3版、有斐閣アルマ、2013年
橋田浩史他著、『中小企業・ベンチャー企業論』新版、有斐閣コンパクト、2014年

授業計画

- 中小企業とは、中小企業経営とは？
【予習内容】（各60分、合計120分）
事前のキャンパスクロス等で送付されたテキストを確認し、当該回の授業の全体像を理解しておくこと。
テキストで説明されていない用語のうち、理解できない用語については予め調べておくこと。
【復習内容】（各60分、合計120分）
授業中に提出した課題をきめて学んだことの振り返りを行い、重要事項を中心にその内容を整理すること。
毎回出題される課題について、出題の真の意図を理解したうえで、期限内に課題に取り組み提出すること。
- 中小企業経営と起業家精神
【予習内容】（各60分、合計120分）
事前のキャンパスクロス等で送付されたテキストを確認し、当該回の授業の全体像を理解しておくこと。
テキストで説明されていない用語のうち、理解できない用語については予め調べておくこと。
【復習内容】（各60分、合計120分）
授業中に提出した課題をきめて学んだことの振り返りを行い、重要事項を中心にその内容を整理すること。
毎回出題される課題について、出題の真の意図を理解したうえで、期限内に課題に取り組み提出すること。
- 中小製造業の経営とその特徴
【予習内容】（各60分、合計120分）
事前のキャンパスクロス等で送付されたテキストを確認し、当該回の授業の全体像を理解しておくこと。
テキストで説明されていない用語のうち、理解できない用語については予め調べておくこと。
【復習内容】（各60分、合計120分）
授業中に提出した課題をきめて学んだことの振り返りを行い、重要事項を中心にその内容を整理すること。
毎回出題される課題について、出題の真の意図を理解したうえで、期限内に課題に取り組み提出すること。
- 中小商業の経営とその特徴
【予習内容】（各60分、合計120分）
事前のキャンパスクロス等で送付されたテキストを確認し、当該回の授業の全体像を理解しておくこと。
テキストで説明されていない用語のうち、理解できない用語については予め調べておくこと。
【復習内容】（各60分、合計120分）
授業中に提出した課題をきめて学んだことの振り返りを行い、重要事項を中心にその内容を整理すること。
毎回出題される課題について、出題の真の意図を理解したうえで、期限内に課題に取り組み提出すること。
- 中小商業の経営とその特徴
【予習内容】（各60分、合計120分）
事前のキャンパスクロス等で送付されたテキストを確認し、当該回の授業の全体像を理解しておくこと。
テキストで説明されていない用語のうち、理解できない用語については予め調べておくこと。
【復習内容】（各60分、合計120分）
授業中に提出した課題をきめて学んだことの振り返りを行い、重要事項を中心にその内容を整理すること。
毎回出題される課題について、出題の真の意図を理解したうえで、期限内に課題に取り組み提出すること。
- 中小企業経営に対する支援（国・県・市の支援策）
【予習内容】（各60分、合計120分）
事前のキャンパスクロス等で送付されたテキストを確認し、当該回の授業の全体像を理解しておくこと。
テキストで説明されていない用語のうち、理解できない用語については予め調べておくこと。
【復習内容】（各60分、合計120分）
授業中に提出した課題をきめて学んだことの振り返りを行い、重要事項を中心にその内容を整理すること。
毎回出題される課題について、出題の真の意図を理解したうえで、期限内に課題に取り組み提出すること。
- 中小企業経営に対する支援（中小企業診断士の役割）
【予習内容】（各60分、合計120分）
事前のキャンパスクロス等で送付されたテキストを確認し、当該回の授業の全体像を理解しておくこと。
テキストで説明されていない用語のうち、理解できない用語については予め調べておくこと。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

中小企業経営に関して自ら考え理解することができる。また、中小企業経営に関して、変わりゆく経営環境の動きに強い関心を持ち、企業組織の中で具体的な改善や解決の提案ができる。併せて、商業の基礎知識を身につけ、経営に関する問題探索と課題提案ができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

社会は正解はひとつではありません。自由な発想で考え、発言する機会があれば積極的に発言してください。
Responなどを使用して、教室内の意見を集約・発表することなどによって、様々な考え・意見が存在することを理解するとともに、自らの考えや理解を深めることを目指します。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。
国の政策実施機関である独立行政法人中小企業基盤整備機構に30年在籍。中小企業の融合化、人材育成（中小企業診断士養成、中小企業経営後継者育成等）、インキュベーション運営、流通団地、工業団地、中心市街地、商店街、共同店舗、中小小売業の経営診断の経験あり。流通の現場の実態を伝えます。経済産業省登録中小企業診断士、内閣府地域活性化伝道師。

備考